

高輪地区情報紙

2009年7月

Vol. 9



あなたの街

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課

地域の学校・サークル団体…②

普連土学園 E.S.Sクラブ

サイエンス・カフェ・イン高輪

この街にこの人あり…③

小説家・エッセイスト

鈴木光司さん

高輪に住んで30年になります



小説家の鈴木光司さん

さんぽみち…④⑤

三田の寺町と

自然をめぐる

地域のイベント…⑥

お祭りへ行こう

御田八幡神社

地域のお祭り特集



地域のHOTな人たち…⑦



表紙作者紹介



神応小学校6年生の斎藤美来です。
作品名は「翌日に羽ばたけ！」
私にとって『翌』という漢字のイメージは
「明日に向かってがんばる！」
真っ白な鳥が青空に向かって飛んでいる
ところを作りました。



羽ばたけ！ 高輪地区版計画

平成21年2月港区は、「港区基本計画」に加え、区内の5地区（芝、麻布、赤坂、高輪、芝浦港南）それぞれに「地区版計画書」を策定しました。なんでも全国でも初めての試みだそうです。地区の課題や特性を踏まえ、各地区の魅力を高める地域事業を盛り込んでいます。

高輪地区（三田4・5丁目、高輪、白金、白金台）の計画のキャッチフレーズは「かがやきとにぎわい、そして愛のあるまちへ」です。わくわくするような地域の未来が想像されますね。

地区版計画は「かがやくまち」、「にぎわうまち」、「はぐくむまち」、「区民参画による地区版計画の推進」の4つの分野に分かれています。「かがやくまち」では街づくり・環境の分野を、「にぎわうまち」ではコミュニティ・産業の分野を、「はぐくむまち」では福祉・保健・教育の分野を扱っています。

この計画は、検討の初期段階から多くの区民の方が参加され、行政と一体となって策定されました。現在、計画を実現するため、各分野の事業の検討が区民と協働で進められています。その中から、高輪地区らしいユニークな事業をひとつご紹介します。

「にぎわうまち」の中の「寺町コミュニティ」という事業です。

これは、地域にあるお寺・神社などを活用し地域コミュニティの拠点としようとするものです。高齢者を中心にだれでも訪れることができる「コミュニティ・サロン」や子ども向けの「地域を知る機会の提供事業」などを実施するそうです。港区では、一人暮らしの高齢者の方が多いようです。高齢者の方は、どうしても家に引きこもりがちになります。近くに気楽に立ち寄ることができる「コミュニティ・サロン」ができれば、外出の機会も多くなり仲間も増えると思います。

また、子どもたちにとって学校や塾の場以外に、このような場所で地域の歴史・文化を楽しく学ぶことができれば、地域に対する関心も深まると思います。

この「寺町コミュニティ」で、地域の人と人のつながりが深まることを期待します。この他にも、「高輪かがやき百景」、「高輪みどりのプロジェクト」、「健康あっぷ！リング高輪」など魅力的な事業が数多くあります。地区版計画のプロジェクトを推進していくためには、区民の協力や協働作業が必須とされます。

地域みなさん！ プロジェクトに参加し、地区のかがやく未来を築きあげていきましょう。

(担当/安藤)

フ レ ン ド

普連土学園中学校

・ 高等学校

E.S.S.クラブ

普連土学園は1887年アメリカのフィラデルフィアのフレンド派（クエーカー）に属する婦人伝道会の人々によって女子教育を目的に創立されました。これには当時、米国留学中の新渡戸稲造と内村鑑三が助言をしました。今年で創立122年になり、長い歴史のある学校です。

E.S.S.は英語クラブのことです。記者たちがクラブを訪問した時、たまたま訪れていた米国アーラム大学教授とその息子さんを囲み、車座に座って英語で話し合いを行っていました。自己紹介から始まり、趣味とか食べ物の話などお互い質問をし、3人の外国



ダン・スティフラー
(Dan Stifler) 先生

人の先生も加わり、会話の手助けをしていました。

時々、大きな笑い声が響き、みんなが英語



のコミュニケーションを楽しんでいるようでした。終わった後で、3人の部員の方からお話をうかがいました。

・部活動についておたずねします。

「現在、クラブの部員は26名ですが、新入部員がこれから入るので40名位になる予定です。E.S.S.は最近人気のクラブになりつつあります。部活動は普段は週1回1時間位ですが、学園祭（10月）近くになると、英語劇の練習で忙しくなります。

部活動の内容は英語に慣れ親しむことを目的としており、ゲームや歌もとりいれています。学園祭での英語劇は毎年行っており、いつも座席が足りなくなるほどの人気です。今年は白雪姫をやる予定です。課外活動として、時々遠足にも行きます」

・将来の夢は？

「英語の先生になりたいです」

「仕事をして、英語で世界の人と会話をしたい」

「日本語、韓国語ができるので、英語ともう1つ外国語をマスターし4ヶ国語話せるようにしたい」



ゲストを交えての
楽しい交歓会（2009年6月）

・普連土学園で8年間英語を教えているスティフラー先生におたずねします。生徒達にどのような点に留意して指導されていますか。

「英語のうまい下手ではなく、みんなが楽しく、自信（confidence）を持って話せるよう指導しています」

取材後の感想

生徒さんたちがとても純粋で前向きに英語に取り組んでいることや3人のネイティブの先生が熱心な指導をされていることに感心しました。英語劇をぜひ一度見てみたいと思いました。

（担当／滝川・真弓）



英語劇（グリム童話）を終えて（2008年10月）

高輪在住の岩村道子（東邦大学大学院名誉教授）さんは港区チャレンジ・コミュニティ大学第一期生終了後、同期3人と「コーヒーを飲みながら近所の人々と楽しく過ごせる場—



岩村道子さん

サイエンス・カフェ」を発足させました。というのも多くの方が定年退職後に地元デビューする機会や場が少なく孤立していると考えたのでした。今やサイエンス・カフェ代表としての講師選びや会の運営に深くかわり、当日会場で司会もこなすという活躍ぶりです。

最近の科学技術の進歩は想像を絶するほどなので、講師が易しく専門分野を解説し、参加者がその分野の知識を再認識出来れば最高です。研究成果がどのように実生活に利用できるのか、害はないのかなど興味深く、質問も多く会場の一体感があります。カフェの場で得た新知識を社会生活の中で生かします。

英国サイエンス・カフェの創始者ダンカン・ダラスさんのエッセイを地で行くものです。“Bringing Science Back Into Culture”（科学を文化の中に呼び戻す）岩村さんの海外生活がこんなところに顔をのぞかせ深い人生経験が垣間見られます。

今年2009年に開催したカフェのテーマ・話題は次のようです。→

Science Cafe
in Takanawaサイエンス・カフェ
・イン高輪

「サイエンス・カフェ」とは、1998年に英国リーズで始まり、科学について市民と科学者が喫茶店などでコーヒーなど飲み物を片手に気軽に話し合う場。今までの講演会などとは異なり、研究者が市民の中に入っていき科学の話題を提供し、皆で対話し考えながら科学への理解を深めようというもの。当日のテーマ・話題に対する興味さえあれば、科学者でなくてもどなたでも、何の準備もなく参加できる会。



第5回サイエンスカフェ（2月28日）の講演者は原口紘彦さん
（名古屋大学名誉教授、前日本分析化学会会長）

- 第5回 2月28日 キリスト友会東京月会会堂
「生命と金属の世界 "ヒトは金属なしでは生きられない"」
- 第6回 4月11日 キリスト友会東京月会会堂
「マングローブ-もう1つの地球環境問題」
- 第7回 5月16日 港区立エコプラザ
「絶滅危惧種アホウドリの再生を夢見て」

（担当／坂下・中嶋・安）

お問い合わせ サイエンス・カフェ・イン高輪
代表 岩村道子

<http://blogs.yahoo.co.jp/iwamuramichiko2008>
email: iwamuramichiko2008@yahoo.co.jp



この街にこの人あり

小説家・エッセイスト 鈴木 光司 さん

ジムで鍛えたがっちりした体格の鈴木さん。小説家というより、冒険家、活動的な社会思想家といった雰囲気の方でした。インタビュアの間、エネルギーがギョウシュによどみなくお話が続ぎ、文学から、地域、社会、子育て、教育など話題は多岐に及びました。

●若者が楽しめるまちになってほしい
―この地域にはいつから住まわれていますか―

「出身は浜松ですが、高輪に住んで三十年になります。慶応大学に通っていた時、学校からほどよい距離にあるこの場所を選びました。娘二人は高輪台小学校、高松中学校に通い、父親として、運動会、PTA会などほとんどの行事に参加しました。また、高輪台小学校で課外授業をしたこともありました」

―この地域についてどんなまちになればよいと思いますか―

「誰もが楽しめるオープンなまちになってほしい。最近、家の近くの広場で若者が集まって賑やかに語り合っていました。自由な雰囲気でもよいと思います。若者が集まると、うるさいとか危険だとか、とかく排除しようとする傾向にあります。若者が集ま

鈴木 光司 (すずき こうじ)

1957年浜松生まれ。慶応義塾大学仏文科卒。高校時代から小説家を目指す。1990年「楽園」で第2回日本ファンタジーノベル大賞優秀賞を受賞。「リング」、「らせん」、「ループ」の3部作が大ブレイク。リングは日本で映画化、米国でリメイクされる。2008年12月、構想から10年かけて完成した大作「エッジ」が刊行される。エッセイ集では「家族の絆」、「地球を走る」、「父性の誕生」などがある。



り、楽しく振る舞うことができるようなまちになればよいと思います」

●子育て・家庭の教育には父性の存在が大事

―家庭での父親の役割はどのようにお考えですか―

「若い頃、妻が働いていて、私は比較的自由的な時間があつたので、娘達の子育てを主に私が分担していました。おむつのとりかえから保育園の送り迎えまで、積極的に取り組ましました。長女が小学三年生の時、中学生になったら、バイクで東京から浜松まで連れていくことを約束させられました。娘を乗せるために、大型バイクの免許をとり、中学一年生の時、約束通り、娘と二人、東京から浜松までのバイクの旅を実現しました。



娘はほんとうにうれしそうにしており、父と娘との強い絆ができたように感じました。

日本では父親が家にいる時間が少なく、母親の考え方で子育て、教育が行われる家庭が多くなっています。母性過多の子育てはどうしても安全第一を考え、危険や冒険から遠ざけようとしてます。その影響を受け、近頃、自主性や逞しさに欠ける子どもが多くなっています。これからの日本を考えるとちよつと心配です。家庭内に父性が不足しているのであれば、地域が補う必要があります。子育てや家庭の教育には父性の存在がどうしても必要だと思っています」

●小説を書くのは自分の世界感を表現する手段です

―ホラーとかファンタジーとかSFとかいろいろなジャンルの小説を書きになっていますが―

「小説は、自分の世界感を表現する手段であつて、ジャンルはあまり意識していません。

『リング』や『ループ』はホラー小説といわれていますが、『リング』で書きたかったのは家族の絆、社会のことで、『ループ』では父の役割、自己犠牲、人間愛です。

そのため、記憶するだけの勉強に追われているので、なかなか応用力が身につきません。

中学生、高校生の頃から何のために勉強するのか自分に問いながら学んでほしい。欧米に追いつくために勉強する時代は終わっています。自分自身は世界の仕組みを理解した上で、新しい表現をしていく。位の高い目標を持つと、いろいろなことに興味がわき、勉強する意義がわかってくると思います。

何事にも、科学的な態度が求められます。物事の本質を見抜き、きっちりした論理性を身につけないと、世界を相手に説得できないのではないのでしょうか」

●失敗をおそれず、何事にもチャレンジしてほしい

―中学生・高校生に何かアドバイスをお願いします―

「失敗をおそれず、何事にもチャレンジする気持ちが一番大事です。

日本では集団からはみ出したことをすると、疎外されることがよくありますが、おそれず、自分の方法で自分の進む道をゲットする気持ちになしてほしい。

なにごとも成功体験と失敗体験が必要で、失敗することに臆病になりすぎないように。一方、うまくいったことがあれば、次の行動のエネルギーになるでしょう」

●日本は変革期にさしかかってきています。変革期には、周辺部にいる人たちが日本を変えるでしょう

―これからの日本の社会についてどのようにお考えですか―

「日本はおよそ七十年ごとに変革期があります。大きな変革があつた第二次大戦後からそろそろ、七十年になろうとしています。活力があつた変革期に比べて社会は硬直化しつつあります。

変革期に、日本を変えていく人は、今あまり注目されていない周辺部にいて、強い意志やエネルギーを持った人ではないでしょうか」

最新作『エッジ』では、宇宙の起源とは、生命の誕生とは、人間にとつての善悪の基準とは、というような根源的な命題をテーマにしました。

次の作品は第2次世界大戦の時、若者がなぜ特攻隊に志願したのか、その集団心理について書いてみたいと思います。日本の若者が非論理的風潮に巻き込まれないような生き方を示唆する小説を考えています」

●何のために勉強するのか自分に問いながら学んでほしい

―現在の日本の教育についてどのようなお考えですか―

「ただ受験に合格するためだけに勉強している学生が多くなっています。

Ratatouille ラタトゥイユ

ニース地方の家庭料理で、「ごった煮」という意味です

- 作り方
- 1 厚なべにオリーブオイルを大さじ1入れ、玉ねぎの千切りを入れて透明になるまで炒める。そこにピーマン、ズッキーニを加え、混ぜながら炒める。
 - 2 トマトとAを加え、ふたをして弱火でゆっくり15分位煮る。
 - 3 この間に、なすをオイル大さじ1〜2で焼き、色付いたものから取り出す。
 - 4 なすを2に加え、更に10〜15分、フタをして煮る。水分が足りない場合は、水1/4カップを少しずつ加え、煮る。
 - 5 ほぼ水分がなくなったら出来上がりです。盛りつけて、パセリを散らす。お好みで、冷やして食べてもおいしいです。



作り方

オリーブオイル 大さじ2〜3
にんにく 1片 みじん切り
A トマトジュース 少々
塩、こしょう 少々
タイム、ロリエ等の香草 少々
パセリ 少々 みじん切り

マダム ミムラの



材料 (4人分)

玉ねぎ 中1ヶ 千切り
ピーマン (赤と緑) 5ヶ
種を取り除き7mm巾くらいの千切り
ズッキーニ 1本 5mm厚さの短冊切
完熟トマト 中2ヶ 皮をむき、ざく切り
なす 4ヶ 皮をむき、短冊切り、塩を少しふり
水分がでてきたら、軽くふきとる。

三村真喜子さん ● 高輪で30年以上、フランス料理教室トゥロウ・ヴィラージュを主宰。フランスの料理学校に留学し、基礎からしっかり学んだ経験を生かして、日本人に無理なく作れる本格レシピを紹介している。

●ワンポイント・アドバイス

なすは、油を吸いやすいので、弱火にしたり少し強めたりを繰り返して、オイルを足さずに焼きましょう。なるべく厚手の鍋を使いましょう。

(担当/中嶋・安・滝川)

寺町の中の洋館

寺町の中に一軒だけキリスト教会の教会があります。その敷地内に、85年前にヴォーリズという人が設計した歴史的にも貴重な洋館があり、今は国登録有形文化財となっています。

W・メレル・ヴォーリズ

1880年 アメリカ・カンザス州に生まれる。音楽と絵画を愛す。
1900年 コロラド大学入学。その時建築家への夢があった。
1905年 日本の滋賀県近江八幡市に宣教師として訪れる。
1919年 日本人の女性と結婚。
1920年 会社を設立し、日本でメンソレータムの普及に努めた。
※この頃から建築家の道を歩み、華美でなく 無駄がない、それでも住む人が心温まる設計が評価される。
1941年 日本国籍を得て一柳米来留(ヒトツヤナギメレル)となる。
1964年 83歳で生涯を閉じる。
※生涯、約1600の作品を設計し、現在およそ100作品の建物が残っています。高輪地区(三田・白金・高輪)には3作品があります。



★フレンズセンター



①魚籃寺
庶民信仰された魚籃観音を安置。朱塗りの山門が目につきます

①薬王寺
「あさがおに釣瓶とられてもらい水」(加賀の千代女) ゆかりの古井戸があります



②正山寺
山門右側に鳥枢沙摩明王像のお堂。自殺対策に取り組む僧侶の会の活動を行っています

③實相寺
会津藩松平家の菩提寺。本堂は19世紀前期の江戸建築です



④ビオトープ(三田台公園)
「ビオトープ」とは、生き物がすめる環境のことです。区では、生き物がすむことに重点を置いたビオトープエリアを設けています(エリアの開放は日曜日のみ)



⑤カントウタンポポ(亀塚公園)
関東に自生している日本たんぽぽのことを「カントウタンポポ」と呼び保護されています



⑥亀塚公園階段



⑦公開されているエレベーター

さんぽみち

三田の寺町と自然をめぐる

今から約170年前までの三田4丁目、周りにわずかな町屋を配した中小規模の寺院群からなるお寺の町でした。

現在では、大規模な寺院がある街並みのような参拝客の賑わいはありませんが、地域に溶けこんだ静かな佇まいとまわりに広がる自然にひたりながら、気の向くままに歩いてみませんか。

(担当/真弓・田中・伊関・安藤)

イラスト図: 和田三枝



寺町の成立

現在の三田4丁目界隈は、三田北寺町・南寺町の町名があった所で、寛永11年(1634)に計画的に造られた寺院街です。同年の武家諸法度の改正で確立した参勤交代制により、大量の大名邸地が必要となり、八丁堀や桜田にあった寺院が移転させられて三田の地に大量転入してきました。現在、この地に残る寺院は33か寺(平成19年1月現在)ですが、その宗旨は様々ではありません。

これらの寺の多くは、大名の江戸における菩提寺となり重厚な伽藍をもつ大名寺でしたが、明治以降は廃藩置県により大名は国許へ戻り、その役目を終えることになりました。

現代は、道路沿いに商店やマンションが建ち並び、堀が続く山門が軒を並べるという街況ではありませんが、通りを一本中に入れば、各所に古の寺町の佇まいを残し、風情のある散歩道となっています。



江戸期の三田寺町地図(江戸切絵図「芝高輪辺絵図」より) 港区立港郷土資料館蔵

散歩する方へ

お寺も教会も建物内に入ることはできません。お庭に入る際も声をかけてお入りください。



⑧明福寺
山門、本堂ともに現存する江戸建築。本堂は外壁を漆喰で塗り込めています



⑫亀塚稲荷神社
御神体は亀形の霊石。境内の5基の弥陀種子板碑は貴重な文化財です



⑦明王院
山門、本堂ともに現存する江戸建築。本堂左右の大きな紅白のしだれ梅が見事です



⑥常林寺
江戸和算家 安島直円の墓があります。大名菩提寺の面影を残し境内のお庭がとってもきれいです



④玉鳳寺
「化粧延命地蔵」(おしろい地蔵)を安置。唐破風向拝の本堂は現存する江戸建築です

⑤仙翁寺
絵手紙の集いが開かれています



江戸名所図会「聖坂・済海寺・功運寺周辺絵図」 港区立港郷土資料館蔵
江戸時代の聖坂は階段でした。また功運寺は現在中野区に移転しています

お祭りへ行こう

今年もまたお祭りの季節がやって来しました。ここ高輪地区においても神社の大祭や、商店会主催の夏まつりなどたくさんのイベントがあります。神社のお祭りでは、お神輿や山車がねり歩き、夏まつりでは縁日屋台が賑わいをみせ、子どもからお年寄りまでみんなで楽しむことができます。地域のコミュニケーションの場としてよりいっそう親睦が深まります。また新しくこの地域にお住まいの方もご近所の方と知り合える良い機会だと思います。積極的に参加してはいかがでしょうか。

御田八幡神社

鎮祀千三百年奉祝大祭

宮司のご子息である、禰宜の水野明彦さんにお話をお伺いしました。

神社の成り立ち

御田八幡神社の創建は古く、和銅二年（七〇九）牟佐志国牧岡に東国鎮護の神として鎮祀され、平成二十一年には千三百年の佳節を迎えます。

『延喜式神明帳』に記載された神社（式内社）の稗田神社として伝えられ、都内でも大変稀な古社であります。その後、寛弘八年（一〇二一）には現在の三田一丁目あたりに遷座され、嵯峨源氏渡辺一党の氏神として尊崇されました。俗に「綱八幡」と称されました。そして、江戸開幕の際には現社地で造営を開始し、寛永五年（一六二八）に遷座されました。



御田八幡神社 禰宜の水野明彦さん

大祭・記念事業について

千三百年奉祝を迎えるにあたり、神社周辺は高層ビルが林立し、氏子地域では大規模マンションにより世帯数が急激に増加し、取り巻く環境は劇的に変化を遂げております。文化や歴史の担い手として往古より変わらぬ神社の役割を保持しつつ皆様の心の拠り所として、来る新しい世の中にも対応し得る神社として護持発展させていかなければならないと考えております。

神社へひとりでも多くの方にお越しいただくことを第一に考え、また新しくこの地域にお住まいの方にもぜひお越しいただきたく、賑やかさを数多くご用意しております。

神輿渡御にはじまり、映画鑑賞会・NHK交響楽団演奏会・童謡合唱会・神話の語り・演芸など、全日程は八日間及びます。氏子町会のご協力のもと模擬店も出店致します。多数のご参拝をお待ち申し上げます。

大祭日程

- 7/31（金）宵宮
- 8/ 1（土）1300年式年例祭
演芸・模擬店・抽選会
- 2（日）神輿渡御
演芸・模擬店
- 3（月）例祭二日祭・映画鑑賞会
- 4（火）NHK交響楽団演奏会
- 5（水）童謡独唱・合唱会
- 6（木）神話の語り
- 7（金）終了奉告祭

記者コメント

平城京への遷都が和銅三年（七一〇）ですから古い歴史ですね。また神社所蔵の『稗田大神宮縁起絵巻』の模写を拝見させて頂きました。江戸時代の神社風景画でこころ安らぐすばらしい絵巻でした。大祭の際には拝見できるそうですよ。ぜひ一度ご覧になって下さい。

禰宜の水野明彦さんはとても気さくな方で、取材では話も弾み、時間が経つのも忘れてしまいました。ご協力ありがとうございました。（担当／加藤・安・中嶋・安藤）



御田八幡神社 神輿渡御の様子

まだまだあります 地域のお祭り



白金氷川神社 大祭

平成21年9月12・13日（土・日）

氏子の区域は白金・白金台の二十町会にまたがり。町会ごとに神酒所を造営し神輿・山車の町内巡行は9月13日（日）に行われます。境内はお囃子で賑やかし、神社近隣の町内神輿は神社にお越しになり、おはらいを致します。



宮司の井出正典さん

高輪神社 大祭

平成21年9月5・6・10日（土・日・木）

9月6日（日）に町内神輿・山車・お囃子が各町内をねり歩きます。大祭は9月10日（木）に神社にて行われます。3年おきに宮神輿が大祭の日に出ますが、昨年すでに行われました。町内の皆様、多数のご参加をお待ちしてます。



高輪神社宮神輿修復披露

春日神社 大祭

平成21年9月11～13日（金・土・日）

今年は9月12日（土）が大祭、13日（日）が神輿勢揃いの日です。10ヶ町の神輿が桜田通りに一同に介し、町内をねり歩きます。お囃子車がお祭りの雰囲気をお一層盛り上げて、街はとても賑わいをみせます。



昨年の春日神社 神輿渡御の様子

魚らん納涼フェスティバル

主催：魚らん銀座商店会協同組合
平成21年7月25・26日（土・日）
魚らん交差点際・NBF高輪ビル前広場及び仲通り

盆踊りをはじめ、ジャズコンサート・産直野菜コーナー・手作りの夜店が並ぶ懐かしい縁日で楽しさいっぱいです。飲食コーナーやゲームコーナーなどもあります。みなさん、ぜひ遊びに来て下さい！

なお7月1日から魚らん売り出しセールも行います！



商店会長の伊藤方夫さん

四の橋 夏まつり

主催：白金商店会
平成21年8月1・2日（土・日）
四の橋時計台広場～白金商店街メイン通り（四の橋）

オープニングの鼓笛隊パレード・チャリティバザー・若芝太鼓・盆踊りなどイベントがいっぱいです。恒例の大人も子どもも楽しめる大ジャンケン大会もやります！手作り屋台も多数出店します。今年も楽しさいっぱいの夏まつりを期待して下さい。



商店会長の小林靖彦さん

地域のHOTな人たち



北里研究所病院の向かいにあるハンバーガー専門店「Burger Mania（バーガーマニア）」。
オーナーの守口駿介さんは、原宿の有名ハンバーガーショップで修行後、去年3月に白金でお店をオープン。「地域の人たちと一緒にハンバーガーを盛り上げていきたい！ Mania= 熱中している人。そんな人たちが集まるお店にしたい！」と熱意いっぱいの守口さん。

天然酵母パンズ（パン）に100%国産牛パティ（お肉）等、食材はすべて国産メイドで添加物をほとんど使ってない。大人だけではなく、小さなお子さんでも安心して食べられる！

※子どもイスがあるので、小さなお子さん連れもOK！

というのも、守口さんはお店の裏にある小学校の生徒さんたちと仲良しで、店内には生徒さん達が描いたお絵かきが飾られている！店内はとてもアットホームな雰囲気！

「とにかく何も考えずに、かぶりついてほしい！」という守口さん。

独立という一つの夢を叶えた守口さんの熱い言葉に、わたしも元気をいっぱいもらいました！

（担当／山田）

営業時間 11時30分～23時
定休日 月曜日（要確認）
<http://www.burger-mania.com/>
住所 港区白金6-5-7
☎ 03-3442-2200



2 がぶっと夢を叶えた守口さん

白金に一家で在住し外資系企業に勤務するロバート・アラオさん（通称ボブさん）は、ニューヨーク州出身の日系3世のアメリカ人で、大のアウトドアスポーツ好きの万能選手です。ボブさんは在日アメリカ人たちとスポーツネットワークを作り上げ、毎週機会があれば野球・ソフトボール・アメリカンフットボール等のアウトドアスポーツ活動を企画主催し、母国同様の雰囲気を楽しんでいます。

ボブさんの軟式野球チーム“ウィークエンド・ウォリアーズ”は毎月、有栖川公園隣接の麻布運動場でテンプル大学日本校野球同好会やアメリカ大使館職員チーム等と交流戦を行っています。

ボブさんは、地域の方々とのスポーツを通じての幅広い交

流も大切にしており、シルバー人材センターチームや区立中学校・私立高等学校チーム等と軟式野球、ソフトボールなどの親善友好試合も行っています。

ボブさんのチーム自体には、まだ正式な野球のユニフォームが無く普通のスポーツウェアですが、それこそ母国での本来の市民レベルの野球を楽しむスタイルと云えましょう。

野球発祥の地であるアメリカの方々との軟式野球やソフトボールの体験は、よい思い出になると思いますので、ご興味ある方はチャレンジしてみてください。

（担当／河村・木村）



楽しい交流試合を終えて

チームでの交流戦の問い合わせ、個人や少人数での参加の問い合わせは下記までお願い致します。

河村保弘 yhiro_kawamura@yahoo.co.jp
（白金・高輪インターナショナルズチーム代表）

※チーム事情等によりご希望に添えない場合があります。

3 スポーツで国際交流を目指すボブさん

募集します！

みんなで高輪地区情報紙を盛り上げよう！

高輪地区情報紙「あなたの街」も、次号は刊行10号を迎えます。内容も編集メンバーの気持ちもリフレッシュして、これまで以上に地域の顔と顔をつなぐ情報紙を作っていきたいと思っています。ぜひ地域のみなさんの声をお寄せください！

<今回の募集>

(1)「あなたの街」に代わる新しい愛称

高輪地区の情報紙にふさわしい、おぼえやすく、地域のみなさんに永く親しまれるような愛称を募集します。

★締め切り：平成21年8月31日

★情報紙の区民編集メンバーで選考し、新愛称1点を決定、第10号から使用します。

★採用された方には素敵な記念品を差し上げます。

(2) その他の募集（情報・作品など）

◇地域に根ざし、地域を元気にする人（お隣さん、ご近所さん、館長さん、店主さん、院長さん など）。

◇地区内の美しい風景や笑顔の写真・絵など。第11号以降の表紙に掲載します。

◇地域で活動・活躍しているサークル、ボランティア団体。

◇古川の歴史や環境、古川にまつわる思い出など（古川関連の記事を予定しています）。

◇この地区のことを詠んだ短歌・俳句・川柳など。

★締め切りはありません。

「応募方法」

(1) 新しい愛称

◆ハガキまたはFAXで①愛称の案 ②理由 ③氏名 ④住所 ⑤電話番号を書いて右記あて先へ
◆高輪地区総合支所4階・地区政策係で専用の用紙に記入し応募ボックスに投函

(2) その他

◆ハガキまたはFAXで①情報・作品（写真・絵の場合は現物）②作品のタイトル、コメント ③氏名 ④住所 ⑤電話番号を書いて右記あて先へ

【あて先】 高輪地区総合支所協働推進課
地区政策係
「地域情報紙 募集担当」まで
〒108-8581 港区高輪1-16-25
FAX 03-5421-7626

勝守り 米寿となりて 更に尚
覚林寺 清正公や 鯉のぼり
だらだらと 西日真向う 柘榴坂

白金在住
泉峰さん

高輪在住

吉岡 満寿美さん

俳句

超高層ビルと大空 虹の輪に

『安全で美しい高輪地区』のため、力を合わせて頑張っています！

高輪地区生活安全・環境美化活動推進協議会

「高輪地区生活安全・環境美化活動推進協議会」は、『地域生活の安全確保と環境美化の推進』を目的として、高輪地区（三田4・5丁目、高輪、白金、白金台）に住み、働き、活動する85の団体、企業、官公庁で構成された地区最大の組織です。

◆問い合わせ先

事務局：高輪地区総合支所協働推進課 活動推進係 ☎5421-7621

協議会

町会・自治会、商店会、地区委員会、母の会、防犯協会、ビル防犯協会の、交通安全協会、消防団、防火防災協会、警察署、消防署、国土交通省、東京都建設局、東京青年会議所、日本たばこ産業(株)、(株)ケーブルテレビジョン東京、東京電力(株)、食品容器環境美化協会、白金志田町倶楽部、港区

地域パトロール専門部会



▲夏の夜間パトロール

道路問題専門部会



▲通学路点検

放置自転車・放置バイク対策、公園・児童遊園専門部会



▲放置自転車撤去キャンペーン

環境美化専門部会



▲打ち水大作戦

▶まずは苗植え



そのプログラムのひとつが緑のカーテン。公募区民と職員が「緑のカーテン高輪・サポーター」として、高輪コミュニティぶらざ3F図書館テラス前と2F食堂前でゴーヤ・オカワカメ・琉球アサガオを育てます。

今回は6月8日に開催した苗植え会の様子をご紹介します。ぶらざにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。日々の成長をお楽しみに！

高輪地区総合支所で今年度からスタートする「高輪みどりのプロジェクト」。
緑化を進めることは地球温暖化防止・ヒートアイランド対策に効果があるだけでなく、わたしたちの心の豊かさにつながります。

うちのカーテン、緑色なんです。



©NPO法人緑のカーテン応援団

◆問い合わせ

高輪地区総合支所まちづくり推進担当 ☎5421-7664



◀サポーターのみなさん

学校＋支所＝地域力アップ！



▲高輪地区総合支所地区政策係 & 明治学院大学地域連携推進室

高輪地区総合支所では、明治学院大学と協働で「法律相談・講演会」や「チャレンジコミュニティ大学」など、様々な事業を実施しています。今後も大学をはじめとした地域の多くの学校との連携の輪を広げ、魅力ある事業を展開していきます。

高輪地区内の学校のみならず、ぜひ一緒に地域を元気にする、おもしろい取り組みを始めましょう！

◆問い合わせ

高輪地区総合支所協働推進課 地区政策係 ☎5421-7123

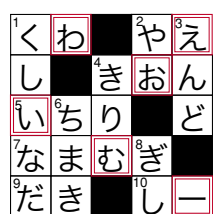
明治学院大学から

明治学院がこの白金の丘に校地を得て120年以上が経ちます。「Do for Others ー他者への貢献ー」を教育理念に掲げる明治学院では、2007年4月に社会貢献を目的とした「地域連携推進室」を開設し、港区とのさまざまな連携事業を展開しています。地域の多くの皆様に、港区と本学の連携事業にご参加いただきたいと思います。

明治学院大学 地域連携推進室

法律講演会▶
(2009年2月)前号
クロスワード
パズルの答

わ い え む お ー



安藤 洋一(チーフ)
木村 博史(サブチーフ)
山田 エミ(デザイン)
伊関 則子
河村 保弘
滝川 まり
西森 章江
安 勢津子

加藤 雅彦(サブチーフ)
真弓 瑞枝(サブチーフ)
田中 啓子(校正)
川上 裕子
坂下 妥子
中嶋 路子
森安 雪子
渡邊 義信

●9号から編集部に新しい方が9名も参加されました。年代の幅も広がり、ますます充実しています。散歩道やイベント紹介など新しい企画も始まりました。また、読者の方の感想や情報、作品をお待ちしています。羽ばたけ！情報紙。(洋一)

●散歩道の記事はいかがでしたか？寺町の付まいと小さな自然を守り、次代へ引き継いでいくことが、今を生きる私たちの責務だと思いました。(伊関・田中・真弓)

●家族みんなとお祭りに行こう！地域のコミュニケーションの場として、親睦を深めましょう。(加藤)

●編集が終わって仲間と飲むビール喉と心にシーンとしみこむ(坂下)

●瀬川の水野さんのお話楽しくうかがいました。お祭りの日を心待ちにしています。(中嶋)

●あなたの街に参加させていただいて地域の奥の深さにただ感激！(西森)

●今号から参加しました！Burger Maniaの取材&記事を書いたり、レイアウトを担当したりと、とても楽しかったです！これからもみなさまから愛される情報紙を目指して頑張ります！(山田エミ)

●五十音順で一番シンガリ。編集会議が始まる毎週の水曜日が楽しく待ち遠しい。チーフの安藤さんの物静かで一同の纏め上手には大いに協力して行く気持ち「大」。(渡邊)

編集だより

